

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

2月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「アカネ科 クチナシ」
園芸用として栽培されることが多い常緑低木。2月22日にこの実でストールを染める体験を行う（募集中）。



☆「グミ科 ナワシログミ」☆
庭木としてよく植栽される常緑低木。稲の苗代を作る頃(4~5月)に果実が熟すことから名付けられた。



☆「ツバキ科 ヤブツバキ」☆
海岸沿いに多い常緑小高木。日本原産で園芸品種の基本種。観賞用と共に重要な油用植物でもあった。



「ゴマノハグサ科 ムラサキサギゴケ」
多年草。花径:1.5~2cm。地面をはうように広がる。花を白鷺、株を苔に見立ててその名が付いた。



「ユリ科 ウバユリの幼葉」
多年草。みずみずしい幼葉が目立つ。花盛りの夏頃には葉がなくなる→歯がなくなる→姥、と転じてその名が付いた。



☆「キク科 セイヨウタンポポ」☆
ヨーロッパ原産の帰化植物。多年草。繁殖力が強く、要注意外来生物に指定されている。



「ゴマノハグサ科 オオイヌノフグリ」
ヨーロッパ原産の帰化植物。越年草。花径:7~10mm。色は瑠璃色。英語名にキャッツアイなどがある。



「シソ科 ホトケノザ」
越年草。花径:約2cm。上部の葉が、仏が座る蓮座のような形から名付けられた。春の七草は本種ではない。



☆「キク科 オオジシバリ」☆
多年草。花径:2.5~3cm。タンポポに似ているが、花びらが少なく葉の形も違う(葉はへらのような形)。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ますよ♪

※多年草…同じ株から何年も枯れずに花を咲かせ続ける 越年草(えつねんそう)…秋に芽を出して冬を越し春に花が咲く

宇久井半島では、日差しがだんだん暖かく感じられるようになりました。
園地内を散策して春を見つけに来て下さい♪みなさまのお越しをお待ちしております♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2020年2月後半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 冬版

<散策時間の目安>

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

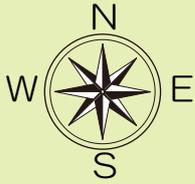
クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ
カルガモ



千尋の浜

(上地の浜)

フェリーターミナル方面
通行できません



至 R42

セグロカモメ

ウミネコ

自然観察の森

上野展望台

敵船監視場跡

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

ヤマモモ

モチノキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヤブツバキ

ツルコウジ

ヤマモモ

ヒサカキ

カラサザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タブノキ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

オオキンカメムシ

地玉(じこく)の浜

赤灯台

駒ヶ崎灯台

松尾展望広場



外の取

凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段